

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	畑地帯総合整備事業	都道府県名	北海道	地区名	中央
-----	-----------	-------	-----	-----	----

1．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		6 1 9 , 5 0 0 千円	
年 効 用		4 8 , 0 5 1 千円	
廃 用 損 失 額		-	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		3 3 年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)		0 . 0 5 6 9	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	8 4 4 , 4 8 2 千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1 . 3 6	

2．年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
農作物の生産量の増加	作 物 生 産 効 果	2 4 , 0 5 5	畑地及び水田の排水改良等による単収の増加 対象作物：小麦、大豆、小豆、甜菜、牧草
営農経費の節減	営農経費節減効果	2 0 , 8 2 3	ほ場条件改善による労働時間の短縮や機械経費の節減 対象作物：小麦、大豆、小豆、甜菜、牧草
	維持管理費節減効果	1 , 4 1 3	排水施設の改修に伴う施設の維持管理費の節減 対象施設：排水路
施設更新による従前の農業生産の維持	更 新 効 果	1 , 7 6 0	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：排水路
計		4 8 , 0 5 1	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	畑地帯総合整備事業	都道府県名	北海道	地区名	留寿都西部
-----	-----------	-------	-----	-----	-------

1．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		4 5 1 , 5 0 0 千円	
年 効 用		3 1 , 6 6 7 千円	
廃 用 損 失 額		-	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		9 4 年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+ 建設利息率)		0 . 0 4 2 3	総合耐用年数に応じた効用から総 便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	7 4 8 , 6 2 9 千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1 . 6 5	

2．年効用の総括

項 目		年効果額(千円)	効果の内容
農作物の生産量の増加	作物生産効果	3 , 0 1 0	畑地の排水改良、土層改良等による 単収の増加 対象作物：小麦、馬鈴薯、小豆、甜 菜、大根、スイートコーン
営農経費の節減	営農経費節減効果	2 8 , 6 5 7	ほ場条件改善による労働時間の短縮 や機械経費の節減 対象作物：小麦、馬鈴薯、小豆、甜 菜、大根、スイートコーン
計		3 1 , 6 6 7	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	畑地帯総合整備事業	都道府県名	北海道	地区名	京極南部
-----	-----------	-------	-----	-----	------

1．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		241,500千円	
年 効 用		22,360千円	
廃 用 損 失 額		-	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		44年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)		0.0500	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	447,200千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1.85	

2．年効用の総括

項 目		年効果額(千円)	効果の内容
農作物の生産量の増加	作物生産効果	15,167	畑地の排水改良、土層改良等による単収の増加 対象作物：馬鈴薯、小豆、大豆、小麦、甜菜、人参
営農経費の節減	営農経費節減効果	7,193	ほ場条件改善による労働時間の短縮や機械経費の節減 対象作物：馬鈴薯、小豆、大豆、小麦、甜菜、人参
計		22,360	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	畑地帯総合整備事業	都道府県名	北海道	地区名	芦別北部
-----	-----------	-------	-----	-----	------

1. 費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		1,080,741千円	
年 効 用		61,133千円	
廃 用 損 失 額		94千円	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		44年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)		0.0493	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	1,239,926千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1.14	

2. 年効用の総括

項 目	年効果額(千円)	効果の内容
農作物の生産量の増加	49,125	畑地の土層改良、湿潤かんがい等による単収の増加 対象作物：ゆり根、大豆、小豆、南瓜、馬鈴薯、小麦、メロン
	7,797	湿潤かんがい等による品湿の向上 対象作物：南瓜、メロン
営農経費の節減	2,555	ほ場条件改善、水管理合理化による労働時間の短縮や機械経費の節減 対象作物：ゆり根、大豆、小豆、南瓜、馬鈴薯、小麦、メロン
	2,315	用水施設の新設に伴う施設の維持管理費の増加 対象施設：畑地かんがい施設
地域の生活環境の保全・向上	3,110	河川水量を制御することにより、洪水被害を防止 対象施設：農業用ダム(関連事業)
	547	付け替え道路等の建設により、地域の利便性が確保 対象施設：農業用ダム(関連事業)
	314	周辺の景観に配慮することにより、水辺環境が保全、創造 対象施設：農業用ダム(関連事業)
計	61,133	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	畑地帯総合整備事業	都道府県名	北海道	地区名	新八千代
-----	-----------	-------	-----	-----	------

1．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		1,131,711千円	
年 効 用		77,465千円	
廃 用 損 失 額		-	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		38年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)		0.0526	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	1,472,719千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1.30	

2．年効用の総括

項 目		年効果額(千円)	効果の内容
農作物の生産量の増加	作物生産効果	42,410	畑地の排水改良、湿潤かんがい等による単収の増加 対象作物：小豆、大根、スイートコーン、南瓜、小麦、馬鈴薯、アスパラガス、甜菜
	品質向上効果	6,162	湿潤かんがい等による品湿の向上 対象作物：大根、スイートコーン、南瓜
営農経費の節減	営農経費節減効果	30,110	ほ場条件改善、水管理合理化による労働時間の短縮や機械経費の節減 対象作物：小豆、大根、スイートコーン、南瓜、小麦、馬鈴薯、アスパラガス、甜菜
	維持管理費節減効果	1,217	用水施設の新設に伴う施設の維持管理費の増加 対象施設：畑地かんがい施設
計		77,465	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	畑地帯総合整備事業	都道府県名	北海道	地区名	智恵文
-----	-----------	-------	-----	-----	-----

1．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		6 6 1 , 5 0 0 千円	
年 効 用		6 8 , 8 2 8 千円	
廃 用 損 失 額		-	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		2 9 年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)		0 . 0 6 0 8	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	1 , 1 3 2 , 0 3 9 千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1 . 7 1	

2．年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
農作物の生産量の増加	作 物 生 産 効 果	4 5 , 9 4 7	畑地の排水改良、土層改良等による単収の増加 対象作物：馬鈴薯、小麦、小豆、甜菜、スイートコーン、南瓜、グリーンアスパラガス
営農経費の節減	営農経費節減効果	2 1 , 0 9 3	ほ場条件改善による労働時間の短縮や機械経費の節減 対象作物：馬鈴薯、小麦、小豆、甜菜、スイートコーン、南瓜、グリーンアスパラガス
	維持管理費節減効果	7 9	排水施設の改修に伴う施設の維持管理費の節減 対象施設：排水路
施設更新による従前の農業生産の維持	更 新 効 果	1 , 7 0 9	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：排水路
計		6 8 , 8 2 8	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	畑地帯総合整備事業	都道府県名	北海道	地区名	新明
-----	-----------	-------	-----	-----	----

1．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		1 9 3 , 2 0 0 千円	
年 効 用		1 2 , 3 4 4 千円	
廃 用 損 失 額		-	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		6 6 年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)		0 . 0 4 4 6	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	2 7 6 , 7 7 1 千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1 . 4 3	

2．年効用の総括

項 目		年効果額(千円)	効果の内容
農作物の生産量の増加	作物生産効果	4 , 4 1 5	畑地の排水改良等による単収の増加 対象作物：小麦、サートコーン、小豆、馬鈴薯、甜菜
営農経費の節減	営農経費節減効果	7 , 9 2 9	ほ場条件改善による労働時間の短縮 や機械経費の節減 対象作物：小麦、サートコーン、小豆、馬鈴薯、甜菜
計		1 2 , 3 4 4	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	畑地帯総合整備事業	都道府県名	北海道	地区名	美深東
-----	-----------	-------	-----	-----	-----

1．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		105,000千円	
年 効 用		11,219千円	
廃 用 損 失 額		-	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		36年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)		0.0539	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	208,145千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1.98	

2．年効用の総括

項 目		年効果額(千円)	効果の内容
農作物の生産量の増加	作物生産効果	6,392	畑地の排水改良、土層改良等による単収の増加 対象作物：小麦、小豆、馬鈴薯、甜菜、そば、スイートコーン、南瓜、アスパラガス
営農経費の節減	営農経費節減効果	4,319	ほ場条件改善による労働時間の短縮や機械経費の節減 対象作物：小麦、小豆、馬鈴薯、甜菜、そば、スイートコーン、南瓜、アスパラガス
	維持管理費節減効果	129	排水施設の改修に伴う施設の維持管理費の節減 対象施設：排水路
施設更新による従前の農業生産の維持	更新効果	379	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：排水路
計		11,219	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	畑地帯総合整備事業	都道府県名	北海道	地区名	辰子丑
-----	-----------	-------	-----	-----	-----

1．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		9 7 4 , 2 7 6 千円	
年 効 用		5 4 , 4 6 3 千円	
廃 用 損 失 額		-	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		4 2 年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)		0 . 0 5 0 5	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	1 , 0 7 8 , 4 7 5 千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1 . 1 0	

2．年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
農作物の生産量の増加	作 物 生 産 効 果	1 1 , 0 2 8	畑地の排水改良、肥培かんがい等による単収の増加 対象作物：牧草
営農経費の節減	営 農 経 費 節 減 効 果	4 1 , 9 6 8	ほ場条件改善、水管理合理化による労働時間の短縮や機械経費の節減 対象作物：牧草
	維持管理費節減効果	1 , 6 1 6	用水施設の新設に伴う施設の維持管理費の増加 対象施設：畑地かんがい施設
地域の生活環境の保全・向上	公 共 施 設 保 全 効 果	1 , 7 7 9	付け替え道路等の建設により、地域の利便性が確保 対象施設：農業用ダム（関連事業）
	水 辺 環 境 整 備 効 果	1 , 3 0 4	周辺の景観に配慮することにより、水辺環境が保全、創造 対象施設：農業用ダム（関連事業）
計		5 4 , 4 6 3	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	畑地帯総合整備事業	都道府県名	北海道	地区名	東産土
-----	-----------	-------	-----	-----	-----

1．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		4 5 9 , 2 2 5 千円	
年 効 用		2 6 , 0 2 6 千円	
廃 用 損 失 額		-	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		4 1 年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)		0 . 0 5 1 0	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	5 1 0 , 3 1 4 千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1 . 1 1	

2．年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
農作物の生産量の増加	作 物 生 産 効 果	5 , 5 1 6	畑地の排水改良、肥培かんがい等による単収の増加 対象作物：牧草
営農経費の節減	営 農 経 費 節 減 効 果	1 9 , 7 4 7	ほ場条件改善、水管理合理化による労働時間の短縮や機械経費の節減 対象作物：牧草
	維持管理費節減効果	8 1 7	用水施設の新設に伴う施設の維持管理費の増加 対象施設：畑地かんがい施設
地域の生活環境の保全・向上	公 共 施 設 保 全 効 果	9 1 2	付け替え道路等の建設により、地域の利便性が確保 対象施設：農業用ダム（関連事業）
	水 辺 環 境 整 備 効 果	6 6 8	周辺の景観に配慮することにより、水辺環境が保全、創造 対象施設：農業用ダム（関連事業）
計		2 6 , 0 2 6	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	畑地帯総合整備事業	都道府県名	北海道	地区名	斜里
-----	-----------	-------	-----	-----	----

1. 費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		31,310,034千円	
年 効 用		1,715,323千円	
廃 用 損 失 額		391,369千円	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		44年	当該事業の耐用年数
還元率 $\times(1 + \text{建設利息率})$		0.0503	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	33,710,480千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1.07	

2. 年効用の総括

項 目	年効果額（千円）	効果の内容
農作物の生産量の増加	作物生産効果	467,791 畑地の土層改良、湿潤かんがい等による単収の増加 対象作物：小麦、馬鈴薯、甜菜、小豆、人参、玉ねぎ、白菜、大根、南瓜、トマト、ほうれん草
	品質向上効果	171,135 湿潤かんがい等による品湿の向上 対象作物：人参、玉ねぎ、大根、南瓜
営農経費の節減	営農経費節減効果	834,251 ほ場条件改善、水管理合理化による労働時間の短縮や機械経費の節減 対象作物：小麦、馬鈴薯、甜菜、小豆、人参、玉ねぎ、白菜、大根、南瓜、トマト、ほうれん草
	維持管理費節減効果	43,616 用排水施設の新設、改修に伴う施設の維持管理費の増減 対象施設：畑地かんがい施設、排水路（関連事業）
施設更新による従前の農業生産の維持	更新効果	31,336 老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：排水路（関連事業）
地域の生活環境の保全・向上	地域排水効果	50,088 雨水が速やかに排水されることにより、農業用施設等の被害を防止 対象施設：排水路（関連事業）
	安全性向上効果	3,956 フェンスを新たに設置することにより、事故率の低下、安全性の向上 対象施設：排水路（関連事業）
	文化財発見効果	1,303 発掘調査を行うことによりその文化的価値が明確化 対象施設：畑地かんがい施設、排水路（関連事業）
	公共施設保全効果	156,766 付け替え道路等の建設により、地域の利便性が確保 対象施設：畑地かんがい施設（関連事業）
	地域用水効果	4,205 防火用水としての利用 対象施設：畑地かんがい施設
	水辺環境整備効果	38,108 周辺の景観、環境に配慮することにより、水辺環境が保全、創造 対象施設：畑地かんがい施設、排水路（関連事業）
計		1,715,323

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	畑地帯総合整備事業	都道府県名	北海道	地区名	訓子府西
-----	-----------	-------	-----	-----	------

1．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		934,500千円	
年 効 用		86,306千円	
廃 用 損 失 額		-	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		31年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+ 建設利息率)		0.0587	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	1,470,290千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1.57	

2．年効用の総括

項 目	年効果額(千円)	効果の内容
農作物の生産量の増加	57,422	畑地及び水田の排水改良、土層改良等による単収の増加 対象作物：小麦、馬鈴薯、甜菜、玉ねぎ、スイートコーン、人参、小豆、牧草、デントコーン
営農経費の節減	25,525	ほ場条件改善による労働時間の短縮や機械経費の節減 対象作物：小麦、馬鈴薯、甜菜、玉ねぎ、スイートコーン、人参、小豆、牧草、デントコーン
	896	排水施設の改修に伴う施設の維持管理費の節減 対象施設：排水路
施設更新による従前の農業生産の維持	2,463	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：排水路
計	86,306	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	畑地帯総合整備事業	都道府県名	北海道	地区名	屈足
-----	-----------	-------	-----	-----	----

1．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		4 2 0 , 0 0 0 千円	
年 効 用		3 7 , 1 6 1 千円	
廃 用 損 失 額		-	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		3 1 年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)		0 . 0 5 8 7	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	6 3 3 , 0 6 6 千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1 . 5 0	

2．年効用の総括

項 目		年効果額(千円)	効果の内容
農作物の生産量の増加	作物生産効果	1 8 , 9 8 4	畑地の排水改良、土層改良等による単収の増加 対象作物：小麦、大豆、小豆、菜豆、甜菜、馬鈴薯、人参
営農経費の節減	営農経費節減効果	1 8 , 3 1 2	ほ場条件改善による労働時間の短縮や機械経費の節減 対象作物：小麦、大豆、小豆、菜豆、甜菜、馬鈴薯、人参
	維持管理費節減効果	1 3 5	排水施設の新設に伴う施設の維持管理費の増加 対象施設：排水路
計		3 7 , 1 6 1	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	畑地帯総合整備事業	都道府県名	北海道	地区名	宇莫別
-----	-----------	-------	-----	-----	-----

1．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		119,700千円	
年 効 用		10,006千円	
廃 用 損 失 額		-	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		30年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)		0.0597	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	167,605千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1.40	

2．年効用の総括

項 目		年効果額(千円)	効果の内容
農作物の生産量の増加	作物生産効果	6,160	畑地及び水田の排水改良、土層改良等による単収の増加 対象作物：水稲、小麦、小豆、馬鈴薯、甜菜、デントコーン、牧草
営農経費の節減	営農経費節減効果	3,846	ほ場条件改善による労働時間の短縮や機械経費の節減 対象作物：水稲、小麦、小豆、馬鈴薯、甜菜、デントコーン、牧草
計		10,006	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	畑地帯総合整備事業	都道府県名	北海道	地区名	津別東部
-----	-----------	-------	-----	-----	------

1．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		113,965千円	
年 効 用		11,503千円	
廃 用 損 失 額		3,733千円	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		31年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)		0.0580	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	194,595千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1.70	

2．年効用の総括

項 目		年効果額(千円)	効果の内容
農作物の生産量の増加	作物生産効果	8,483	畑地の排水改良、土層改良等による単収の増加 対象作物：小麦、馬鈴薯、甜菜、大豆、玉ねぎ、牧草、デントコーン
営農経費の節減	営農経費節減効果	2,528	ほ場条件改善による労働時間の短縮や機械経費の節減 対象作物：小麦、馬鈴薯、甜菜、大豆、玉ねぎ、牧草、デントコーン
	維持管理費節減効果	75	排水施設の改修に伴う施設の維持管理費の節減 対象施設：排水路(関連事業)
施設更新による従前の農業生産の維持	更新効果	417	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：排水路(関連事業)
計		11,503	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	畑地帯総合整備事業	都道府県名	北海道	地区名	常呂第2豊川
-----	-----------	-------	-----	-----	--------

1．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		2,037,000千円	
年 効 用		176,379千円	
廃 用 損 失 額		-	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		28年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)		0.0620	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	2,844,823千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1.39	

2．年効用の総括

項 目		年効果額(千円)	効果の内容
農作物の生産量の増加	作物生産効果	128,335	畑地の排水改良、土層改良等による単収の増加 対象作物：小麦、馬鈴薯、甜菜、小豆、玉ねぎ、牧草、デントコーン
営農経費の節減	営農経費節減効果	48,044	ほ場条件改善による労働時間の短縮や機械経費の節減 対象作物：小麦、馬鈴薯、甜菜、小豆、玉ねぎ、牧草、デントコーン
計		176,379	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	畑地帯総合整備事業	都道府県名	北海道	地区名	士幌西部北
-----	-----------	-------	-----	-----	-------

1．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		4 8 3 , 0 0 0 千円	
年 効 用		4 1 , 8 4 1 千円	
廃 用 損 失 額		-	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		3 0 年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+ 建設利息率)		0 . 0 5 9 7	総合耐用年数に応じた効用から総 便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	7 0 0 , 8 5 4 千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1 . 4 5	

2．年効用の総括

項 目		年効果額(千円)	効果の内容
農作物の生産量の増加	作物生産効果	2 4 , 9 0 2	畑地の排水改良、土層改良等による 単収の増加 対象作物：馬鈴薯、甜菜、小麦、小 豆、牧草、デントコーン
営農経費の節減	営農経費節減効果	1 6 , 9 3 9	ほ場条件改善による労働時間の短縮 や機械経費の節減 対象作物：馬鈴薯、甜菜、小麦、小 豆、牧草、デントコーン
計		4 1 , 8 4 1	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	畑地帯総合整備事業	都道府県名	北海道	地区名	幌岡
-----	-----------	-------	-----	-----	----

1．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		4 4 1 , 0 0 0 千円	
年 効 用		6 0 , 6 6 0 千円	
廃 用 損 失 額		-	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		2 9 年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)		0 . 0 6 0 8	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	9 9 7 , 6 9 7 千円	
費 用 便 益 比	= ÷	2 . 2 6	

2．年効用の総括

項 目		年効果額(千円)	効果の内容
農作物の生産量の増加	作物生産効果	4 1 , 8 3 5	畑地の排水改良、土層改良等による単収の増加 対象作物：馬鈴薯、甜菜、小麦、小豆、牧草、デントコーン
営農経費の節減	営農経費節減効果	1 8 , 8 2 5	ほ場条件改善による労働時間の短縮や機械経費の節減 対象作物：馬鈴薯、甜菜、小麦、小豆、牧草、デントコーン
計		6 0 , 6 6 0	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	畑地帯総合整備事業	都道府県名	北海道	地区名	国府中央
-----	-----------	-------	-----	-----	------

1．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		756,000千円	
年 効 用		63,061千円	
廃 用 損 失 額		40,359千円	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		25年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)		0.0661	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	913,665千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1.20	

2．年効用の総括

項 目		年効果額(千円)	効果の内容
営農経費の節減	営農経費節減効果	34,356	水管理合理化による労働時間の短縮 や機械経費の節減 対象：家畜(乳牛、肉用牛)用水
	維持管理費節減効果	7,391	施設の改修に伴う施設の維持管理費 の節減 対象施設：営農用水施設
施設更新による 従前の農業生産 の維持	更 新 効 果	21,314	老朽化した施設の更新による従前の 農業生産の維持 対象施設：営農用水施設
計		63,061	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	畑地帯総合整備事業	都道府県名	北海道	地区名	西掘田
-----	-----------	-------	-----	-----	-----

1．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		3,465,000千円	
年 効 用		208,575千円	
廃 用 損 失 額		1,401千円	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		35年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)		0.0546	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	3,818,654千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1.10	

2．年効用の総括

項 目		年効果額(千円)	効果の内容
営農経費の節減	営農経費節減効果	149,259	水管理合理化による労働時間の短縮 や機械経費の節減 対象：家畜(乳牛、肉用牛)用水、 畑作用水
	維持管理費節減効果	12,751	施設の改修に伴う施設の維持管理費 の節減 対象施設：営農用水施設
施設更新による 従前の農業生産 の維持	更 新 効 果	46,565	老朽化した施設の更新による従前の 農業生産の維持 対象施設：営農用水施設
計		208,575	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	畑地帯総合整備事業	都道府県名	岩手県	地区名	南奥中山
-----	-----------	-------	-----	-----	------

1．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		1,549,200千円	
年 効 用		113,944千円	
廃 用 損 失 額		7,705千円	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		39年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)		0.0531	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	2,138,133千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1.38	

2．年効用の総括

項 目	年効果額(千円)	効果の内容
農作物の生産量の増加	作物生産効果 16,459	畑地かんがいによる作付増減及び単収の増加 対象作物：レタス、ほうれん草、アオガリトウモロコシ等
	品質向上効果 1,674	農道改修による荷痛みの防止 対象作物：レタス、キャベツ
営農経費の節減	営農経費削減効果 84,494	ほ場の大区画化による労働時間の短縮や機械経費の節減 対象作物：レタス、キャベツ、アオガリトウモロコシ等
	維持管理費節減効果 1,916	畑かん施設の新設、農道等の改修による維持管理費の節減 対象施設：畑かん施設、排水路、農道
	営農に係る走行経費節減効果 9,285	農道改修に伴う車種転換による運搬台数の縮減及び運搬時間の短縮
施設更新による従前の農業生産の維持	更新効果 1,989	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：排水路、農道
地域の生活環境の保全・向上	一般交通等経費節減効果 1,959	農道改修による一般交通の時間の短縮
計	113,944	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	畑地帯総合整備事業	都道府県名	山形県	地区名	川原子
-----	-----------	-------	-----	-----	-----

1．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		340,000千円	
年 効 用		19,325千円	
廃 用 損 失 額		2,100千円	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		35年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)		0.0546	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	351,837千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1.03	

2．年効用の総括

項 目		年効果額(千円)	効果の内容
農作物の生産量の増加	品質向上効果	10,780	農道改修による作物の荷痛みの防止 対象作物：さくらんぼ、もも、りんご等
営農経費の節減	維持管理費節減効果	85	農道の改修による維持管理費の節減 対象施設：農道
	営農に係る走行経費節減効果	6,488	農道改修による運搬時間の短縮及び労働時間の短縮 対象施設：農道
施設更新による従前の農業生産の維持	更新効果	1,972	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：農道
計		19,325	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	畑地帯総合整備事業	都道府県名	茨城県	地区名	中結城
-----	-----------	-------	-----	-----	-----

1．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		2,025,000千円	
年 効 用		163,538千円	
廃 用 損 失 額		3,338千円	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		38年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)		0.0533	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	3,064,917千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1.51	

2．年効用の総括

項 目	年効果額(千円)	効果の内容
農作物の生産量の増加	作物生産効果 68,427	区画整理, 畑地かんがいを計画的に行うことによって, 作付面積の増加, 単収の増加が見込まれる。 対象作物: 白菜, メロン, キャベツ, レタス, ネギ
	品質向上効果 8,692	農道の舗装により, 生産物運搬の際の荷痛み防止が見込まれる。 対象作物: 白菜, メロン, キャベツ, レタス, ネギ
営農経費の節減	営農経費節減効果 60,713	機械利用効率の向上により機械経費, 労働時間が節減されるため見込まれる。 対象作物: 白菜, メロン, キャベツ, レタス, ネギ
	維持管理費節減効果 2,017	用排水施設等の新設, 改修に伴い施設の維持管理費が増減される。 対象施設: 排水路, 道路, ファームポンド, ポンプ設備機器, パイプライン

営農経費の節減	営農に係る走行経費 節減効果	2 1 , 7 6 5	農道が新設又は改良されることにより、効率が良くなるので農作物並びに流通に係わる輸送経費節減が見込まれる。
施設更新による 従前の農業生産 の維持	更 新 効 果	4 2 9	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：道路
地域の生活環境 の保全・向上	一般交通等経費節減 効果	9 3 8	一般交通，輸送交通の改善並びに機械化 対象施設：道路
	非農用地等創設効果	2 , 0 6 9	幹線道路を非農用地として創設換地することにより，合理的，経済的に用地を取得できるため効果が見込まれる。 対象施設：道路
	安 全 性 向 上 効 果	5 0 2	社会的要請に基づき，通学路として歩道を設置することによって歩行者の安全性が高まるため見込まれる。 対象施設：道路
	公共施設保全効果	2 , 0 2 0	幹線道路が新設又は改良されることにより，現在の用水路の施設が対象となるので効果が見込まれる。 対象施設：用水路
計		1 6 3 , 5 3 8	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	畑地帯総合整備事業	都道府県名	茨城県	地区名	三村
-----	-----------	-------	-----	-----	----

1．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		746,000千円	
年 効 用		41,763千円	
廃 用 損 失 額		4,697千円	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		36年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)		0.0546	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	760,193千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1.01	

2．年効用の総括

項 目	年効果額(千円)	効果の内容
農作物の生産量の増加	3,054	畑地の排水改良に伴う作付面積拡大や湿害防止による単収の増加 対象作物：ばれいしょ、たまねぎ、にんじん、小菊
営農経費の節減	422	乾畑化による労働時間の短縮や機械経費の節減 対象作物：ばれいしょ、たまねぎ、小菊
	852	排水施設の改修に伴う施設の維持管理費の節減、農道改良・新設に伴う維持管理費の増 対象施設：排水路、農道
	22,510	農道改良・新設に伴う農産物生産並びに流通に係る輸送経費の節減 対象作物：ばれいしょ、たまねぎ、にんじん、ねぎ等
施設更新による従前の農業生産の維持	1,318	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：農道
地域の生活環境の保全・向上	12,625	農道改良・新設に伴う普通乗用車等一般交通に係る走行経費の節減
	166	ガードレール設置による安全性の向上
	816	事業実施に伴う文化財の発見・保全
計	41,763	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	畑地帯総合整備事業	都道府県名	群馬県	地区名	持柏木
-----	-----------	-------	-----	-----	-----

1．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		1,600,000千円	
年 効 用		88,770千円	
廃 用 損 失 額		19,140千円	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		39年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)		0.0528	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	1,662,110千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1.03	

2．年効用の総括

項 目		年効果額(千円)	効果の内容
農作物の生産量の増加	作物生産効果	5,835	水田の乾田化や転作作物の面積拡大の増加 対象作物：水稻、ﾌﾞﾛｯｺﾘｰ、ハウレンソウ、ネギ
	品質向上効果	235	道路整備により荷痛みが防止されることによる増加 対象作物：ﾌﾞﾛｯｺﾘｰ、ハウレンソウ、ネギ
営農経費の節減	営農経費節減効果	43,861	ほ場の大区画化による労働時間の短縮や機械経費の節減 対象作物：水稻、ハウレンソウ
	維持管理費節減効果	1,027	道路用排水路等の改修、統合に伴う施設の維持管理費の節減 対象施設：道路、用水路、排水路
	営農に係る走行経費節減効果	393	農道の整備により農業交通の変化により走行費等が軽減される 対象施設：道路
施設更新による従前の農業生産の維持	更新効果	3,714	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：用水路、排水路

地域の生活環境 の保全・向上	一般交通等経費節減 効果	1 , 1 0 3	幹線農道の整備により集落の一般交 通に要する経費が軽減される 対象施設：道路
	非農用地等創設効果	8 1	換地により公共用地等を合理的・経 済的に取得できる効果 対象施設：県道バイパス用地、公民 館用地、集排用地、住宅用
	安 全 性 向 上 効 果	5 , 0 8 9	事業実施にあたり安全施設を設置す ることにより安全性が確保・向上さ れる効果 対象施設：歩道、ガードレール
	文化財発見効果	4 , 0 8 0	事業実施に伴い埋蔵文化財は発見さ れ文化的価値が明確になる
	公 共 施 設 保 全 効 果	2 1 , 8 6 5	区画整理に伴い公共施設の更新が行 われ耐用年数が増加する効果 対象施設：村道、電柱、水道管等
	地域用水効果	6 2 6	農業用排水路の一部を防火用水等の 地域用水として利用し経費が節減さ れる効果 対象施設：ため池
	地積確定効果	2 2 0	国土調査が終了していない地域の地 積が確定される効果
	水 辺 環 境 整 備 効 果	2 , 6 9 5	周辺景観や環境に配慮した石積み水 路とすることによる水辺環境の保全 対象施設：ため池、排水路
計		8 8 , 7 7 0	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	畑地帯総合整備事業	都道府県名	長野県	地区名	居倉小川
-----	-----------	-------	-----	-----	------

1．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		504,000千円	
年 効 用		36,258千円	
廃 用 損 失 額		-	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		28年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)		0.0623	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	581,990千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1.15	

2．年効用の総括

項 目	年効果額(千円)	効果の内容
農作物の生産量の増加	1,450	畑地かんがい施設の新設による単収の増加 対象作物：レタス、白菜
営農経費の節減	22,094	畑地かんがい施設がないエリアの散水に係る労働時間の短縮や機械経費の節減 対象作物：レタス、白菜
	4,252	畑地かんがい施設用の更新に伴う施設の維持管理費の節減 対象施設：畑かん施設
施設更新による従前の農業生産の維持	8,244	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：畑かん施設
地域の生活環境の保全・向上	218	取水工の一部を魚類等の生息環境に配慮した石積構造とすることによる水辺環境の保全 対象施設：取水工
計	36,258	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	畑地帯総合整備事業	都道府県名	静岡県	地区名	新間ほたる
-----	-----------	-------	-----	-----	-------

1．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		4 5 0 , 0 0 0 千円	
年 効 用		2 8 , 1 7 8 千円	
廃 用 損 失 額		-	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		3 1 年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)		0.0586	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	4 8 0 , 8 5 3 千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1.06	

2．年効用の総括

項 目		年効果額(千円)	効果の内容
農作物の生産量の増加	作物生産効果	1 1 3	水田の作付の減少や排水路整備による単収の増加 対象作物：茶
	品質向上効果	4 2 0	農道舗装による単収の増加 対象作物：茶
営農経費の節減	営農経費節減効果	1 3 , 3 9 8	園地の中区画化等による労働時間短縮や機械経費の節減 対象作物：茶
	維持管理費節減効果	5 , 7 2 7	農道等の改修に伴う施設の維持管理費の節減 対象施設：農道、用水路、排水路
	営農に係る走行経費節減効果	6 , 1 4 5	農道の新設及び改良による走行経費の節減
施設更新による従前の農業生産の維持	更新効果	1 , 9 1 1	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：用水路、排水路及び農道
地域の生活環境の保全・向上	地籍確定効果	2 9 4	区画整理で行う換地による地籍の明確化
	水辺環境整備効果	1 7 0	排水路の整備に伴う、水辺環境が保全・創造
計		2 8 , 1 7 8	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	畑地帯総合整備事業	都道府県名	静岡県	地区名	本谷
-----	-----------	-------	-----	-----	----

1．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		215,400千円	
年 効 用		13,624千円	
廃 用 損 失 額		4,370千円	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		28年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)		0.0612	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	218,244千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1.01	

2．年効用の総括

項 目	年効果額(千円)	効果の内容
営農経費の節減	維持管理費節減効果 2,277	用排水施設等の改修に伴う施設の維持管理費の節減 対象施設：揚水機場、用水路、道路
	営農に係る走行経費節減効果 7,109	道路拡幅に伴う車種変更、走行速度上昇による走行経費の節減 対象施設：道路
施設更新による従前の農業生産の維持	更新効果 3,818	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：揚水機場、用水路、道路
地域の生活環境の保全・向上	一般交通等経費節減効果 420	道路拡幅に伴う速度上昇による、一般交通に要する経費の節減 対象施設：道路
計	13,624	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	畑地帯総合整備事業	都道府県名	石川県	地区名	打木
-----	-----------	-------	-----	-----	----

1．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		2 2 4 , 7 0 0 千円	
年 効 用		1 5 , 8 0 8 千円	
廃 用 損 失 額		—	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		2 5 年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)		0 . 0 6 6 1	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	2 3 9 , 1 5 3 千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1 . 0 6	

2．年効用の総括

項 目		年効果額(千円)	効果の内容
営農経費の節減	維持管理費節減効果	2 , 5 6 1	用水施設等の改修に伴う施設の維持管理費の節減 対象施設：揚水機場、用水路
施設更新による従前の農業生産の維持	更 新 効 果	1 3 , 2 4 7	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：揚水機場、用水路
計		1 5 , 8 0 8	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	畑地帯総合整備事業	都道府県名	和歌山県	地区名	須谷・田殿
-----	-----------	-------	------	-----	-------

1．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		115,500千円	
年 効 用		13,067千円	
廃 用 損 失 額		-	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		15年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)		0.0917	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	142,497千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1.23	

2．年効用の総括

項 目		年効果額(千円)	効果の内容
営農経費の節減	維持管理費節減効果	2,684	用排水施設等の改修に伴う施設の維持管理費の節減 対象施設：貯水槽
施設更新による従前の農業生産の維持	更新効果	10,383	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：貯水槽
計		13,067	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	畑地帯総合整備事業	都道府県名	岡山県	地区名	玉島道口
-----	-----------	-------	-----	-----	------

1．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		1,092,000千円	
年 効 用		68,286千円	
廃 用 損 失 額		-	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		30年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)		0.0601	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	1,136,206千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1.04	

2．年効用の総括

項 目	年効果額(千円)	効果の内容
農作物の生産量の増加	8,544	用水路整備による作付面積の増 対象作物：桃
営農経費の節減	14,663	用水路整備による用水運搬経費の節減 対象施設：桃
	4,391	施設の改修に伴う施設の維持管理費の節減 対象施設：用水路、道路
	9,527	道路の新設、改修による輸送経費の節減
施設更新による従前の農業生産の維持	31,039	施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：用水路、道路
地域の生活環境の保全・向上	122	施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：道路
計	68,286	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	畑地帯総合整備事業	都道府県名	愛媛県	地区名	脇
-----	-----------	-------	-----	-----	---

1．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		672,000千円	
年 効 用		46,849千円	
廃 用 損 失 額		-	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		40年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)		0.0521	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	899,213千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1.33	

2．年効用の総括

項 目	年効果額(千円)	効果の内容
農作物の生産量の増加	460	施設の改修に伴う単収の増加 対象施設：道路
営農経費の節減	21,752	ほ場の大区画化による労働時間の短縮や機械経費の節減 対象作物：柑橘類、キウイ、たまねぎ等
	1,143	施設の改修に伴う施設の維持管理費の節減 対象施設：用水路、排水路、道路
	18,958	道路の新設、改修による輸送経費の節減
施設更新による従前の農業生産の維持	4,536	施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：用水路、道路
計	46,849	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	畑地帯総合整備事業	都道府県名	岡山県	地区名	貝吹蔵良
-----	-----------	-------	-----	-----	------

1. 費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		1,911,000千円	
年 効 用		137,410千円	
廃 用 損 失 額		-	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		36年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)		0.0539	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	2,549,351千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1.33	

2. 年効用の総括

項 目		年効果額(千円)	効果の内容
農作物の生産量の増加	作物生産効果	72	水田の水管理改良等による転作作物の面積拡大や単収の増加 対象作物：水稲、きゅうり、ソルゴー、イタリアン
	品質向上効果	2,017	施設の改修に伴う単収の増加 対象施設：道路
営農経費の節減	営農経費節減効果	701	ほ場の大区画化による労働時間の短縮や機械経費の節減 対象作物：水稲、きゅうり、ソルゴー、イタリアン
	維持管理費節減効果	723	施設の改修に伴う施設の維持管理費の節減 対象施設：用水路、排水路、道路
	営農に係る走行経費節減効果	119,935	道路の新設、改修による輸送経費の節減
施設更新による従前の農業生産の維持	更新効果	13,962	施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：用水路、排水路、道路
計		137,410	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	畑地帯総合整備事業	都道府県名	熊本県	地区名	御領北
-----	-----------	-------	-----	-----	-----

1．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		3 , 2 1 4 , 3 0 1 千円	
年 効 用		1 6 7 , 0 6 9 千円	
廃 用 損 失 額		-	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		5 3 年	当該事業の耐用年数
還元率 × (1 + 建設利息率)		0 . 0 4 7 5	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	3 , 5 1 7 , 2 4 2 千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1 . 0 9	

2．年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
農作物の生産量の増加	作物生産効果	1 4 5 , 3 3 3	生産基盤（用水施設、区画整理）の整備に伴う土地利用の向上及び作物単収の増加 対象作物：かんしょ、かぼちゃ、ソルゴー、ミニトマト、いちご、トウモロコシ、ばれいしょ、レタス、イタリアン、温州みかん、不知火、びわ
	品質向上効果	6 , 0 0 0	用水施設の整備に伴い計画的な散水が可能となり、作物の品質が向上 対象作物：不知火
営農経費の節減	営農経費節減効果	1 7 , 9 7 3	用水施設の整備に伴う防除用水運搬作業等の経費の節減
	維持管理費節減効果	2 , 2 3 7	用排水施設等の新設に伴う施設の維持管理費の節減 対象施設：用水路、排水路、道路
計		1 6 7 , 0 6 9	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	畑地帯総合整備事業	都道府県名	宮崎県	地区名	大久保
-----	-----------	-------	-----	-----	-----

1. 費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		6 8 1 , 1 0 0 千円	
年 効 用		3 8 , 2 3 8 千円	
廃 用 損 失 額		3 6 , 8 5 7 千円	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		4 4 年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)		0 . 0 5 1 9	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	6 9 9 , 9 0 6 千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1 . 0 2	

2. 年効用の総括

項 目	年効果額（千円）	効果の内容
農作物の生産量の増加	1 8 , 5 4 7	用水施設の整備に伴う作物単収の増加 対象作物：里芋, 食用甘藷, 馬鈴薯, スイートコーン, 煙草, 大根, 人参, 茶, 温州みかん, 日向夏
	9 1 7	農道舗装による生産物輸送時の損傷の軽減 対象作物：里芋, きゅうり, 食用甘藷, 大根, 温州みかん
営農経費の節減	3 , 9 4 2	防除作業等の効率化による営農経費の節減
	3 3 2	用排水施設等の改修、新設に伴う施設の維持管理費の節減 対象施設：用水路, 排水路, 農道
	5 8 8	農道が改良されることによる通作及び流通に係る輸送経費の節減 対象作物：水稻, 里芋, 大根, 食用甘藷, 煙草, 人参, きゅうり, スイートコーン, 温州みかん, 飼料
施設更新による従前の農業生産の維持	1 1 , 4 4 1	施設の更新に伴う従前の農業生産の維持 対象施設：排水路, 道路
施設更新による災害防止	2 , 4 7 1	排水施設の新設又は改良による農用地、農業用施設の被害防止 対象施設：用水路、排水路、道路
計	3 8 , 2 3 8	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	畑地帯総合整備事業	都道府県名	鹿児島県	地区名	木原
-----	-----------	-------	------	-----	----

1．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		344,000千円	
年 効 用		19,712千円	
廃 用 損 失 額		-	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		44年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)		0.0503	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	391,888千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1.13	

2．年効用の総括

項 目		年効果額(千円)	効果の内容
農作物の生産量の増加	作物生産効果	5,935	農作物の作付面積の増減に伴う作物生産量の増加 対象作物：早期水稻，レザリーフアン，ソルゴー，タバコ，甘藷，ガジュツ，サウギビ、イタリアン
営農経費の節減	営農経費節減効果	11,981	農作業の効率化による営農経費節減 対象作物：早期水稻，タバコ，甘藷，ガジュツ，サウギビ、イタリアン
	維持管理費節減効果	13	用排水施設等の新設、改修に伴う維持管理費の節減 対象施設：農道、用排水路
施設更新による従前の農業生産の維持	更新効果	220	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：農道，水路，取水施設
地域の生活環境の保全・向上	水辺環境保全効果	1,563	赤土流出防止対策に伴う河川，海への環境保全 対象施設：沈砂池、土砂溜
計		19,712	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	畑地帯総合整備事業	都道府県名	鹿児島県	地区名	鈴岳
-----	-----------	-------	------	-----	----

1．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		5 , 2 9 6 , 6 3 1 千円	
年 効 用		2 8 8 , 9 5 4 千円	
廃 用 損 失 額		8 0 , 7 4 6 千円	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		4 2 年	当該事業の耐用年数
還元率 × (1 + 建設利息率)		0 . 0 5 1 5	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	5 , 5 3 0 , 0 1 1 千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1 . 0 4	

2．年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
農作物の生産量の増加	作物生産効果	1 0 4 , 2 7 0	農作物の作付面積の増減に伴う作物生産量の増加 対象作物：水稻，甘藷，山芋，ガジュツ，馬鈴薯，ソラメ，実エンドウ，びわ，ポンカン，タンカン
営農経費の節減	営農経費節減効果	1 3 4 , 6 6 4	農作業の効率化による営農経費の節減 対象作物：甘藷，山芋，馬鈴薯，ソラメ，実エンドウ，びわ，ポンカン，タンカン
	維持管理費節減効果	Δ 5 , 3 2 6	排水施設等の新設，改修に伴う維持管理費の節減 対象施設：排水路，農道
施設更新による従前の農業生産の維持	更新効果	4 9 , 3 9 2	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：取水施設，用水路，農道
地域の生活環境の保全・向上	公共施設保全効果	5 , 9 5 4	公共施設更新による従前機能の維持 対象施設：県道，町道
計		2 8 8 , 9 5 4	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	畑地帯総合整備事業	都道府県名	鹿児島県	地区名	第一阿権
-----	-----------	-------	------	-----	------

1. 費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		1,221,000千円	
年 効 用		95,649千円	
廃 用 損 失 額		-	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		23年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)		0.0695	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	1,376,244千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1.12	

2. 年効用の総括

項 目		年効果額(千円)	効果の内容
農作物の生産量の増加	作物生産向上効果	10,673	農作物の作付面積の増減に伴う作物生産量の増加 対象作物：にがうり、サウキ、パレショ、マング、ローズグラスかぼちゃ、スイートコーン
営農経費の節減	営農経費節減効果	50,655	農作業の効率化による営農経費の節減 対象作物：サウキ、パレショ、ローズグラスかぼちゃ、スイートコーン
	維持管理費節減効果	2,351	排水施設等の新設、改修に伴う維持管理の節減 対象施設：沈砂池、農道、排水路
施設更新による従前の農業生産の維持	更新効果	1,212	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：農道、水路
地域の生活環境の保全・向上	地籍確定効果	624	区画整理に伴い地籍が明確化する効果
	水辺環境整備効果	30,134	赤土流出防止対策に伴う河川、海への環境保全 対象施設：沈砂池、土砂溜
計		95,649	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	畑地帯総合整備事業	都道府県名	鹿児島県	地区名	西阿木名
-----	-----------	-------	------	-----	------

1. 費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		997,500千円	
年 効 用		66,867千円	
廃 用 損 失 額		4,591千円	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		28年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)		0.0620	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	1,073,909千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1.07	

2. 年効用の総括

項 目	年効果額(千円)	効果の内容
農作物の生産量の増減	10,176	農作物の作付面積の増減に伴う作物生産量の増加 対象作物：にがうり、サウキ、パレイショ、マンゴー、パッションフルーツ、ローズグラス
営農経費の節減	36,900	農作業の効率化による営農経費の節減 対象作物：サウキ、パレイショ、ローズグラス
	1,167	排水施設等の新設に伴う維持管理費の節減 対象施設：沈砂池、農道、排水路
施設更新による従前の農業生産の維持	500	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：農道
地域の生活環境の保全・向上	425	区画整理に伴い地積が明確化する効果
	20,033	赤土流出防止対策に伴う河川、海への環境保全 対象施設：沈砂池、土砂溜
計	66,867	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	畑地帯総合整備事業	都道府県名	鹿児島県	地区名	根折南
-----	-----------	-------	------	-----	-----

1．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		595,000千円	
年 効 用		34,818千円	
廃 用 損 失 額		-	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		40年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)		0.0521	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	668,291千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1.12	

2．年効用の総括

項 目	年効果額(千円)	効果の内容
農作物の生産量の増加	9,164	農作物の作付面積の増減に伴う作物生産量の増加 対象作物：サトウキビ、パレイショ、スプレー菊、ユリ球根、ソリタゴ、ユリ切花)
営農経費の節減	18,362	農作業の効率化による営農経費の節減 対象作物：サトウキビ、パレイショ
	118	排水施設等の新設、改修に伴う維持管理費の節減 対象施設：沈砂池、農道、排水路
施設更新による従前の農業生産の維持	1,302	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：農道、排水路
地域の生活環境の保全・向上	6,108	赤土流出防止対策に伴う河川、海への環境保全 対象施設：沈砂池、土砂溜
計	34,818	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	畑地帯総合整備事業	都道府県名	鹿児島県	地区名	畦布
-----	-----------	-------	------	-----	----

1. 費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		658,300千円	
年 効 用		38,008千円	
廃 用 損 失 額		-	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		38年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)		0.0533	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	713,095千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1.08	

2. 年効用の総括

項 目	年効果額(千円)	効果の内容
農作物の生産量の増加	8,562	農作物の作付面積の増減に伴う作物生産量の増加 対象作物：サトウキビ、パレイショ、ユリ球根、スプレー菊、グラジオラス、里芋、ローズグラス、ソリタゴ、フリージア球根、飼料用とうもろこし
営農経費の節減	19,112	農作業の効率化による営農経費の節減 対象作物：サトウキビ、パレイショ、里芋、ローズグラス
	175	排水路等の改修に伴う維持管理費の節減 対象施設：沈砂池、農道、排水路
施設更新による従前の農業生産の維持	1,016	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：農道、排水路
地域の生活環境の保全・向上	9,143	赤土流出防止対策に伴う河川、海への環境保全 対象施設：沈砂池、土砂溜
計	38,008	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	畑地帯総合整備事業	都道府県名	鹿児島県	地区名	万田北
-----	-----------	-------	------	-----	-----

1．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		182,000千円	
年 効 用		16,345千円	
廃 用 損 失 額		-	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		17年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)		0.0838	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	195,047千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1.07	

2．年効用の総括

項 目		年効果額(千円)	効果の内容
農作物の生産量の増加	作物生産効果	15,849	土層改良に伴う作物単収の増加 対象作物：インゲン、里芋、ソルゴー、サトウキビ、パレisho、ローズグラス
営農経費の節減	営農経費節減効果	496	農作業の効率化による営農経費節減 対象作物：インゲン、里芋、ソルゴー、サトウキビ、パレisho、ローズグラス
計		16,345	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	畑地帯総合整備事業	都道府県名	鹿児島県	地区名	第二天北中部
-----	-----------	-------	------	-----	--------

1．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		3 , 4 1 7 , 2 9 0 千円	
年 効 用		2 5 8 , 7 5 5 千円	
廃 用 損 失 額		3 5 , 1 1 7 千円	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		3 6 年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)		0 . 0 5 4 6	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	4 , 7 0 3 , 9 8 5 千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1 . 3 7	

2．年効用の総括

項 目	年効果額(千円)	効果の内容
農作物の生産量の増加	2 3 6 , 5 8 9	用水路等の整備に伴う作物単収の増加 対象作物：サウギ、パレイショ、ソルゴー、マングローブ、パッションフルーツ、イタリアン
営農経費の節減	1 8 , 6 7 3	農作業の効率化による営農経費の節減 対象作物：サウギ、パレイショ、マングローブ、パッションフルーツ
	6 , 8 7 6	維持管理費節減効果 土地改良施設等の新設及び改修に伴う維持管理費の節減 対象施設：沈砂池、農道、排水路
	4 5 9	営農に係る走行経費節減効果 農道の整備に伴う農業輸送及び通作に係る走行経費の節減 対象施設：農道
施設更新による従前の農業生産の維持	1 , 4 3 5	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：農道
地域の生活環境の保全・向上	3 , 7 6 9	農道の整備に伴う一般交通車両の走行経費の節減 対象施設：農道
	4 , 0 2 0	公共施設の更新による従前の機能の維持 対象施設：県道、町道
	6 8 6	地籍確定効果 区画整理をした場合に伴う地積確定
計	2 5 8 , 7 5 5	

関連事業の事業費及び効果を含む。

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	畑地帯総合整備事業	都道府県名	沖縄県	地区名	七又
-----	-----------	-------	-----	-----	----

1. 費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		2,354,563千円	
年 効 用		127,452千円	
廃 用 損 失 額		-	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		41年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)		0.0516	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	2,470,000千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1.04	

2. 年効用の総括

項 目		年効果額(千円)	効果の内容
農作物の生産量の増加	作物生産効果	78,585	畑地かんがい施設の整備による作付面積の拡大や単収の増加
営農経費の節減	営農経費節減効果	34,483	ほ場の大区画化等による労働時間の短縮や機械経費の節減
	維持管理費節減効果	10,794	排水路等の整備による維持管理費の増加 対象施設：排水路、浸透池等
地域の生活環境の保全・向上	水辺環境整備効果	25,178	生物の生息に配慮した区画整理による水辺環境の保全 対象施設：排水路、浸透池等
計		127,452	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	畑地帯総合整備事業	都道府県名	沖縄県	地区名	喜屋武第2
-----	-----------	-------	-----	-----	-------

1．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		1,392,962千円	
年 効 用		72,782千円	
廃 用 損 失 額		-	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		44年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)		0.0503	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	1,446,958千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1.03	

2．年効用の総括

項 目		年効果額(千円)	効果の内容
農作物の生産効果	作物生産効果	22,622	畑地かんがい施設の整備による作付面積の拡大や単収の増加
	品質向上効果	5,604	農道の整備による防塵及び荷痛みの防止
営農経費の節減	営農経費節減効果	43,929	ほ場の大区画化等による労働時間の短縮や機械経費の節減
	維持管理費節減効果	5,725	排水路等の整備による維持管理費の増加 対象施設：排水路、浸透池等
地域の生活環境の保全・向上	水辺環境整備効果	6,352	生物の生息に配慮した区画整理による水辺環境の保全 対象施設：排水路、浸透池等
計		72,782	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	畑地帯総合整備事業	都道府県名	沖縄県	地区名	吉野東
-----	-----------	-------	-----	-----	-----

1．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		2,382,193千円	
年 効 用		128,439千円	
廃 用 損 失 額		-	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		41年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)		0.0516	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	2,489,128千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1.04	

2．年効用の総括

項 目	年効果額(千円)	効果の内容
農作物の生産量の増加	81,925	畑地かんがい施設の整備による作付面積の拡大や単収の増加
営農経費の節減	32,898	ほ場の大区画化等による労働時間の短縮や機械経費の節減
	9,338	排水路等の整備による維持管理費の増加 対象施設：排水路、浸透池等
地域の生活環境の保全・向上	22,954	生物の生息に配慮した区画整理による水辺環境の保全 対象施設：排水路、浸透池等
計	128,439	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	畑地帯総合整備事業	都道府県名	沖縄県	地区名	竹中
-----	-----------	-------	-----	-----	----

1．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		1,230,600千円	
年 効 用		66,047千円	
廃 用 損 失 額		-	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		43年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)		0.0507	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	1,302,702千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1.05	

2．年効用の総括

項 目		年効果額(千円)	効果の内容
農作物の生産量の増加	作物生産効果	41,497	畑地かんがい施設の整備による作付面積の拡大や単収の増加
営農経費の節減	営農経費節減効果	18,898	ほ場の大区画化等による労働時間の短縮や機械経費の節減
	維持管理費節減効果	4,938	排水路等の整備による維持管理費の増加 対象施設：排水路、浸透池等
地域の生活環境の保全・向上	水辺環境整備効果	10,590	生物の生息に配慮した区画整理による水辺環境の保全 対象施設：排水路、浸透池等
計		66,047	